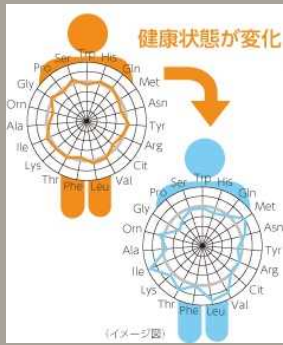


体内のアミノ酸バランスの違いによりがんのリスクを評価する新しいアプローチ

がんの物理的変化をとらえる画像診断や細胞診、腫瘍産生物が指標の腫瘍マーカー、HPV検査やピロリ菌検査などがんのリスクになり得るウイルスや菌の検査、遺伝子変異によるがんには遺伝子検査などがあります。アミノインデックスは健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析し、現在がんである可能性を評価しています。



アミノインデックス受診結果の留意点

アミノインデックスは、生涯にわたってのリスクを予測するものではありません。また、がんの有無を直接調べる検査ではありませんので、検査結果区分が「ランク A」でも100%がんではないとは言いきれません。また、「ランク B」や「ランク C」でも、必ずしも、がんであるわけではありません。がんになると共通に変化するアミノ酸があるため、ひとつの臓器にがんがある場合、複数のアミノインデックスの項目について「ランク B」や「ランク C」となることがあります。アミノインデックスの検査結果の解釈や必要な精密検査に関しては、その他の検査結果とともに総合的に判断して下さい。

アミノインデックス(血液検査)とは

アミノ酸濃度のバランスから一度に複数のがんリスクを評価

血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、現在がんである可能性を評価する検査です。早期のがんにも対応しています。

評価対象がんとがん種別評価対象年齢

男性 5 種・女性 6 種のがんリスクを評価

検査項目名称	評価対象がん	がん種別 評価対象年齢
男性 AICS[5 種]	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん	25 歳～90 歳
	前立腺がん	40 歳～90 歳
女性 AICS[6 種]	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25 歳～90 歳
	子宮がん・卵巣がん	20 歳～80 歳

※子宮がん・卵巣がんについては、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんであるリスクを評価することはできますが、それぞれのがんのリスクについて区別することはできません

注意事項

- ・検査時に妊娠されている方、授乳中の方、がん患者（治療中を含む）の方、先天性代謝異常の方、透析患者の方は、数値に影響が出ますので、検査は受けられません。
- ・検査前 8 時間以内に、水以外（食事、サプリメント等）は摂らないでください。
- ・正しい検査結果を得るために、できるだけ検査当日朝の運動はお控えください。
- ・薬剤の検査への影響に関しては分かっておりません。検査当日のお薬の服用方法については、事前に主治医にご相談の上、その指示に従ってください。

アミノインデックス検査結果報告書サンプル

このたび、受診いただきましたあなたのAICS®検査結果および現在がんである可能性をご報告させていただきます。

■ 検査結果

項目	AICS値	ランクA	ランクB	ランクC
AICS(胃)	3.2	●		
AICS(肺)	5.2		●	
AICS(大腸)	0.8	●		
AICS(膵臓)	8.7			●
AICS(乳腺)	2.2	●		
AICS(子宮・卵巣)	2.2	●		

■ がんである可能性

ランク	がんである可能性
ランクA	低い
ランクB	やや高い
ランクC	高い

● ランクについて知っておいただきたいこと

- ランクB ランクC について

血液中のアミノ酸濃度は様々な原因で変化するため、がん以外の食事や、個人特有のアミノ酸のパターンにより、**がんでもなくランクBやCと判定される場合があります。**
- ランクA について

AICS®は、がんの有無を直接調べる検査ではありませんので、**ランクAであっても100%がんではないとは言いきれません。**また、同時に受診した他のがん種別の結果と異なる場合があります。
- AICS®の検査結果の判断について

がんの可能性は、AICS®, その他の検査結果と共に総合的に判断されるものです。本検査結果の解釈やその他の必要な検査に関しては、医師にご相談ください。

※各ランク内において人数の多い順に、AICS®では数値によってがんである可能性が高くなるためです。

コメント

裏面では、検査結果に関する解説をご用意しています。必ずお読みください。

アミノインデックス検査料金・項目

アミノインデックス検査費用（男女共） 23,000 円（税別）

男性：胃がん、肺がん、大腸がん、すい臓がん、前立腺がん

女性：胃がん、肺がん、大腸がん、すい臓がん、乳がん、子宮・卵巣がん